壁付2ハンドルシャワー・混合栓 施工説明書(安全編)



- ■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。■この施工説明書はシャワー仕様のイラストで説明しています。

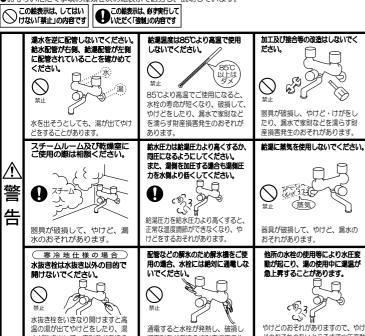
安全上のご注意

- ●ここに示した ⚠ 警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



水が吹き出して、家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。





通電すると水栓が発熱し、破損し

て家財などを濡らす財産損害発生 のおそれがあります。





器具が破損し、漏水で家財などを 濡らす財産損害発生のおそれがあ

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの

場合、少量の水を出しておくか、配管に存を等くなどして、実結を防止してください。実合地 仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓

家財などを濡らす財産損害発生の

禁止 めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。万一めっき の表面が割れた場合は、ただちに 新しい部品に交換してください。

めっき仕様の場合 めっき部品は、ぶつけたり落とした (めっきシャワーヘッド仕様の場合) めっきシャワーヘッドは、公衆浴 りしないでください。また、鋭利な 場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使 物や硬い物を当てないでください。 a. 用しないでください。

めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。

おそれがあります。 取り付け前に

注

意

- ① 使用水圧 [A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失)]
- (1) 瞬間給湯機との組み合わせ(設定条件 水温:25°C 給湯機温度調節:高温 吐水温度:42°C ハンドル全開) 〔比例制御式〕最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
 - 〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧:A+50,0KPa (動水圧)、最高水圧:0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。 ⑥ 本製品は改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

1ページ 2ページ

どのおそれのないところまで水圧変動 をおさえた配管設備にしてください。